



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

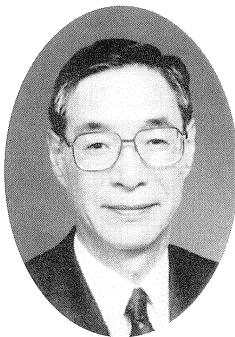
発行・編集 2000年10月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 財団法人日本太鼓連盟

副会長 塩見 和子 Tel.03-3580-9536 Fax.03-3580-8322

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報



財団法人 日本太鼓連盟
会長 津田 正

太鼓関係者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る9月13日に開催されました第7回理事会において、吉野前会長の後を受け、会長に選任されました。財団法人日本太鼓連盟は、1997年11月設立以来、今日では34都道府県に支部が設置され、加盟団体数は800を越え、その会員総数も2万2千人の組織として発展してきていると伺っております。これもひとえに、太鼓関係者の常日頃からのご協力と日本財団をはじめとする関係団体のご支援の賜と心から感謝申しあげます。

近年、日本太鼓は日本の伝統音楽として、聴く者の魂を揺さ振り、まさに「故郷の心」を伝えるものとして、地域社会における評価がますます高まっています。太鼓愛好者は老若男女を問わず広く親しまれており、健常者のみならず身体・知的障害者グループも誕生しております。さらに、日本の伝統文化の海外における紹介のうち、特に太鼓の海外演奏は「日本の心」を伝えるものとして高い人気を博しております。

就任のごあいさつ

このような状況下、これからは海外を含め広く太鼓愛好者を視野に入れ、支部、加盟団体、会員とともに緊密な連携を図りながら、次のことを主眼として、さらなる日本太鼓の普及、発展を図っていきたいと存じます。関係者皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 1 2002年を目処に47都道府県の全国支部開設を目指し、未開設の13府県の支部化に務める。
- 2 「新学習指導要領」により2002年から全国の中学校で音楽時間に和楽器が取り入れられる。このため、講習会、認定制度を充実し、技術の向上や指導者の育成、増員を図るとともに先生をはじめとする学校関係者の講習会参加並びに啓蒙普及のため太鼓教室等の実施に務める。
- 3 全国の太鼓チームが一堂に会し行われる日本太鼓の全国フェスティバル、チャリティーコンサート、ジュニアコンクール、全国障害者大会については、多くの人達の意見を聴取、反映し、時代の流れや社会の変化に対応した内容による開催に務める。
- 4 「太鼓ファンド」の設置に伴い、海外公演や海外講習会の実施により、海外との交流を深め、当財団の海外拠点づくりに務める。

【略歴】

- 1955年 東京大学法学部卒業・自治省に入省
- 1989年 自治事務次官に就任
- 1990年 財団法人地域総合整備財団、財団法人地域活性化センター理事長に就任。
現在は両財団顧問、政府税政調査会委員。

津田正氏を会長に選任 ～第7回理事会、第6回評議員会を開催～

〔第7回理事会〕

第7回理事会が9月13日(水)に開催されました。理事会では次の事項が審議され、可決承認されました。

1. 会長の選任について

第6回評議員会で理事として選任された津田正氏が本理事会において、満場一致で会長に選任されました。

2. 支部の開設について

兵庫県、奈良県支部開設について、可決承認されました。これで34都道府県に支部が設置されたことになります。

3. 2000年度新規事業の実施について

日本太鼓の海外における新たな事業展開を図るため、日本財団より1億円の拠出を得て、太鼓ファンドを設置した。

4. 規程の制定について

太鼓ファンドに関わる「太鼓ファンド規程」を制定した。

5. 2001年度事業計画及び収支予算について

事業、予算について説明を行い、来年度も積極的に事業を展開していくこととした。

6. 日本財団（財団法人日本船舶振興会）に対する2001年度助成金の交付申請について

予算総額2億3400万円のうち、助成金1億6900万円（来年6月を目処に移転する関連費用を含む）を日本財団に申請することとした。

〔第6回評議員会〕

第6回評議員会が9月13日(水)に開催されました。評議員会では次の事項が審議され、可決承認されました。

1. 理事の選任について

理事候補者である津田正氏を全員異議がなく選任しました。

2. 2000年度新規事業の実施について

理事会の3項参照

3. 2001年度事業計画及び収支予算について

理事会の5項参照

事業の方向性を明確にするため諸問題を討議 ～第11回運営委員会、第6回・第7回技術委員会を開催～

〔第11回運営委員会〕

第11回運営委員会が9月6日(水)に開催されました。委員会では、次の事項が審議され、可決承認されました。

1. 2000年(平成12年)度事業実施報告

資料を基に説明を行い、了承された。

2. 第5回技術委員会報告

①日本太鼓全国フェスティバルについて

委員からの各種の意見を反映し、具体的なたたき台を作り、技術委員会で検討することとした。

②日本太鼓ジュニアコンクールについて

第6回技術委員会2項を参照

③日本太鼓全国障害者大会について

次回の第3回大会は引き続き富岳会並びに静岡県支部が主管し、静岡県御殿場市で開催することになった。

3. 2000年(平成12年)度の新規事業について

日本財団より1億円の拠出を得て「太鼓ファンド」の設置について説明を行った。

4. 支部開設について

兵庫県、奈良県の両支部の開設について、承認された。

5. 倫理委員会設置について

今後、会員に関わる諸問題を審議するため倫理委員会を設置していくこととした。

〔第6回技術委員会〕

第6回技術委員会が7月12日(水)に開催されました。委員会では次の事項が審議され、可決承認されました。

1. 日本太鼓全国フェスティバルについて

①第5回大会の実施計画について

第5回日本太鼓全国フェスティバルを2001年9月2日(日)北九州メディアドームで開催する。

②日本太鼓全国フェスティバルの今後について

・各地域のフェスティバルとの相違点を明確にする。

・出場団体数を15団体程度とし、2~3時間程度の公演とする。

・財団よりトップチームを指名し、全国各地で開催する。

以上の内容を基に、2002年以降の実施を目指し、さらに検討することとした。

2. 日本太鼓ジュニアコンクールについて

①第3回大会開催要項(案)について

主管の長野県より、参加者の交通の便や現地での受け入れ体制について、説明があった。

②日本太鼓ジュニアコンクールの今後について

・樽太鼓、獅子舞チームの参加に関しては、課題曲が演奏できる編成であれば特に問題ないが、太鼓のみを審査の対象にすることとした。

・参加者から要請の強い個々のチームに対する審査講評の方法については、コンクールが教育の場でもあり、個々のチームに対する評価を明確にする必要がある。このため、技術委員が大会に参加し、講評内容をまとめ各チームに通達することとした。また、課題曲に関しては時間だけでなく譜面に対する正確さ等を判断することとした。

3. 日本太鼓全国障害者大会について

①第2回大会実施報告について

第2回日本太鼓全国障害者大会は14チーム（身体障害者チームを含む）が出演し、約1000人の観客が集まり大成功に終わった。また、本大会の開催について、少しづつ浸透しているが今後は社会福祉、介護福祉の授業を探りいれている学校や福祉施設に対し、積極的に周知活動を行うこととした。

4. 日本太鼓資格認定制度について

①公認指導員の昇級について

5回の講習内検定を終了し、昇級の条件が整った安江信寿氏（石川県）について検討し、1級公認指導員に認定した。

②2000年度公認指導員研修会について

現在公認指導員総数194名（特別公認指導員を除く）のうち熊本県で開催された更新研修会には36名参加している。

**今年度中に開催される秋田県（11月）、栃木県（2月）の更新研修会に参加されないと、
公認指導員としての資格を失います。**

まだ、更新研修会を受講していない公認指導員は必ずいずれかに参加をして下さい。

⑤日本太鼓教本の見直しについて

教本の増刷に伴い、講習会と照らし合わせ見直す必要がある。このため集中して検討するため、技術委員会を開催することとした。

5. 日本太鼓全国講習会について

2001年度の実施については、長野県、島根県、愛知県から開催の希望があった。

6. 日本太鼓支部講習会について

長野県、千葉県ですでに行われ、12月には神奈川県で実施を予定している。

[第7回技術委員会]

第7回技術委員会が9月17日（日）・18日（月）の両日、長野県諏訪市において開催されました。「日本太鼓教本」について、具体的な検討・協議が行われ、12月を目処に改訂版を作成することとした。

● 各種団体の事業に協力 ●

第39回全大阪王将戦競走

8月13日（日）大阪住之江競艇場で開催された第39回全大阪王将戦競走において、秋田県の「蘭導」が太鼓演奏を行いました。当日は心配されていた台風も去り、晴天に恵まれ、素晴らしい演奏に観客は熱心に聞き入っていました。



全国脊髄損傷者連合会40周年式典

10月9日（月）神奈川県のパシフィコ横浜において、全国脊髄損傷者連合会40周年記念式典が行われ、東京都の大江戸助六流ろう者太鼓「鼓心会」の皆さんが出発しました。障害者や関係者約500名の前で障害を乗り越えた素晴らしい演奏を披露し、会場からは盛大な拍手が起こっていました。



第4回日本太鼓全国フェスティバルを開催 ～海外の民族性豊かな太鼓チーム3団体も出演～



姜善泳舞踊団(韓国)

7月30日(日)東京都の渋谷公会堂において、第4回日本太鼓全国フェスティバルが2000名の観客を集め開催されました。

今回はC.I.O.F.F.の共催で、各支部から選出された日本太鼓チーム23団体とC.I.O.F.F.ワールドフォーカロリアーダ(世界民族文化祭)に参加している世界73カ国・2000名のうち、太鼓を使った民族性豊かなチーム3団体が一堂に会し行なわれました。

当日は、猛暑にもかかわらず、久しぶりの東京での開催とあって開場前から多くの太鼓ファンが列をつくっていました。

主催者側から塩見副会長が、共催者側からC.I.O.F.F.ワールドフォーカロリアーダ実行委員会の三隅副会長がそれぞれ挨拶を行いました。演奏が始まると、太鼓の響きに街中を歩いている人達が入場し、また多くの外国人の姿も目立ちました。観客の歓声と拍手のなか5時間にわたり各チームが熱演し、午後5時フィナーレとなりました。出演者も最後まで他チームの演奏を見聞きし、色々学ぶことができたとの感想を述べておりました。

あるホームページでこのフェスティバルを見学しての感想が、率直に述べられておりましたので、紹介いたします。

「尾瀬太鼓、全国太鼓フェスティバルで花開く」

昨日の日曜日、2000人収容の渋谷公会堂で「第4回日本太鼓全国フェスティバル」が開かれた。12時から17時までの長時間であったが、2000円の入場料が格安に思えるほど、わくわくする演奏を聴くことができた。自由席のため撮影に良い席を確保しようと開場直後に行くと、真正面の2列目というスーパーシートに座れた。いよいよ最初は日本を代表するチームの演奏でスタートする。大分県の「ゆふいん源流太鼓」である。5人の小人数であるが、音が体

出 演 団 体

〈第1部〉

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. ゆふいん源流太鼓 | (大分県) |
| 2. 銚子はね太鼓保存会 | (千葉県) |
| 3. 助六太鼓 | (東京都) |
| 4. 高野右吉と秩父社中 | (埼玉県) |
| 5. ラ・ジョヴァンソ・ド・モン・ファヴェ | (フランス) |
| 6. ルフナ・バレー | (スリランカ) |
| 7. 姜善泳舞踊団 | (韓国) |

〈第2部〉

- | | |
|------------------|--------|
| 8. 巨人伝説太鼓衆弥五郎太鼓 | (鹿児島県) |
| 9. なまはげ太鼓伝承会 | (秋田県) |
| 10. 串間くるみ太鼓 | (宮崎県) |
| 11. 愛宕陣太鼓連響風組 | (福島県) |
| 12. おおむら太鼓連くじら太鼓 | (長崎県) |
| 13. 石川県九谷太鼓保存会 | (石川県) |
| 14. 石見あらがね太鼓 | (島根県) |
| 15. 信州上田真田陣太鼓保存会 | (長野県) |
| 16. 大和の響き・京 | (京都府) |

〈第3部〉

- | | |
|---------------|--------|
| 17. 美濃小倉太鼓 | (岐阜県) |
| 18. 創作・男体雷太鼓 | (栃木県) |
| 19. 和太鼓集団藤枝太鼓 | (静岡県) |
| 20. 分水太鼓 | (新潟県) |
| 21. 尾瀬太鼓愛好会 | (群馬県) |
| 22. 雨鳴太鼓保存会 | (山梨県) |
| 23. 川口初午南龍太鼓 | (埼玉県) |
| 24. のさか太鼓 | (千葉県) |
| 25. 鼓粹 | (神奈川県) |
| 26. 真如太鼓 | (東京都) |

に響いてくる。演奏の音だけでなく、見ていても演奏するその姿にほれぼれする体のこなしである。さすがに今回の大会ポスターに採用されているチームである。きっと世界のどこの国で演奏しても感動を与えるだろう。

もうひとつ250年の歴史を持つ東京湯島「助六太鼓」も素晴らしい。ビデオやCDを発売しているチームだけある。二人で組みになって動きながら演じる姿は、音で聞かせるだけでなく、目でも楽しめる

姿のお手本のようである。

今回26団体の出場チームの中には、本格的な衣装にこだわったチームもある。男鹿半島のなまはげの姿で太鼓の演奏や会場に降りて観客の中に入るパフォーマンスの秋田県「なまはげ太鼓伝承会」。また、戦国武将の鎧姿で幟もにぎやかで、演奏曲目に真田と徳川の戦いを描くストーリー性のある長野県「信州上田真田陣太鼓保存会」など演劇の公演を見ているようで楽しい。また、子供たちが主流のチームや女子中学生4人組で、自分達でデザインした派手な衣装に身を包んでの熱演が会場の拍手を誇った石川県「九谷太鼓保存会」など小人数チームも出場している。

いよいよ21番目の尾瀬太鼓の出演である。ベストメンバーが目に鮮やかな新緑色の半被を着て、舞台いっぱいに立ち並ぶ。見えにくい後ろの大太鼓担当はベテランのおじさん達だ。観客の目に付く前列は女性が中太鼓を叩く。7分間の時間制限があるので、曲目は得意な「尾瀬の四季より春」を演奏する。

日本語に続き、英語で尾瀬太鼓の紹介がされると、暗い舞台にパッとライトが点き、一斉に演奏が始まる。内容の優れた曲目なので観客が聞き惚れている。カメラのフラッシュが次々と光る。大きなアクションのバチさばきの映える演技に会場内は釘付けだ。終わりもピタッと決まり、大きな拍手が鳴り響く。非常に良い演奏だった。有名な団体に引けをとらず、地域に根付く地元の太鼓らしい演奏であった。



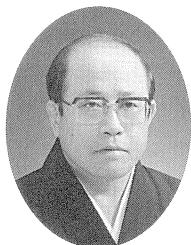
尾瀬太鼓保存会(群馬県)

第5回日本太鼓全国フェスティバルは2001年9月2日(日)
北九州市博覧祭2001年に併せて、福岡県北九州市メディア・ドームで開催されます。

● 兵庫県・奈良県に支部が開設し、34支部に ●

このたび、新たに財団法人日本太鼓連盟の兵庫県支部、奈良県支部が開設いたしました。
両支部の代表者より挨拶をいただいておりますので、ご紹介いたします。

財団法人日本太鼓連盟兵庫県支部 児玉利夫支部長(神戸太鼓保存会会长)



兵庫県太鼓連盟は、平成12年7月20日、加盟団体11団体をもって創立いたしました。

またこのたび、(財)日本太鼓連盟兵庫県支部の認可を受けました。

思えば、全日本太鼓連盟設立時より、兵庫県太鼓連盟創立を念願しておりました私にとりましては、7月20日は誠に記念すべき日となりました。また、創立にあたり、小口副会長、小野常務理事が財団よりお越しくださいましたこと、誠にありがとうございました。

今後は兵庫県下の太鼓団体に呼びかけ、会員を増やし、兵庫県主催の「ふれあいの祭典」の事業として「日本太鼓まつり」を開催すべく努力します。また、少年太鼓育成にも意を注ぐ所存です。

終わりに臨み、兵庫県太鼓連盟創立に際し、京都府太鼓連盟役員各位のご厚情、吉岡賢次理事長、野田浩穂事務局長両氏のご尽力に対し、深甚なる感謝の意を表すると共に、(財)日本太鼓連盟のご厚情に心より感謝いたします。

〈加盟団体 11チーム〉

財団法人日本太鼓連盟奈良県支部 立石 猛支部長(大和獅子太鼓代表)



このたび、(財)日本太鼓連盟に加盟させていただき、誠にありがとうございます。

ご承知のように奈良県は、日本の文化の発祥の地であり、古い文化財や自然がたくさん残っております。

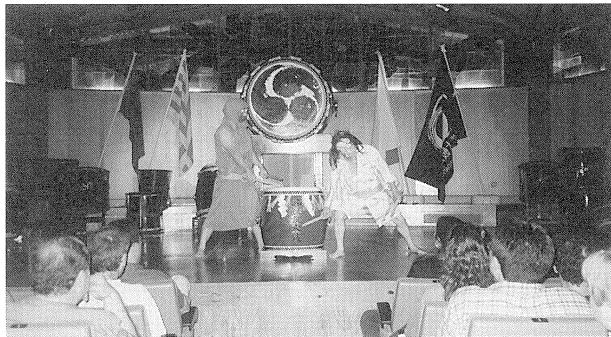
その中で日本古来の太鼓を愛し、練習に日夜汗を流している多くの仲間が、(財)日本太鼓連盟の一員となれることに、大変感謝いたしております。

今後は、より一層練習に精進し、地域社会に密着し、そして太鼓の普及のためがんばっていき所存であります。

そして、(財)日本太鼓連盟の活動や演奏にも(財)日本太鼓連盟の名を汚すことのないようがんばる所存ですので、よろしくご指導頂きますようお願いいたします。

〈加盟団体 7チーム〉

～日本太鼓スペイン公演～ 集まった4000人のバルセロナ市民を魅了



(カザルスホールで演奏する御陣乗太鼓)

バルセロナ日本総領事館よりバルセロナ市において毎年開催されるメルセー祭で、日本の伝統文化である日本太鼓の出演要請が当財団にありました。このメルセー祭を中心とした公演に当財団として初めて石川県御陣乗太鼓保存会(池田庄作代表以下6名)、大分県ゆふいん源流太鼓(長谷川義代表以下5名)の伝統太鼓と創作太鼓の2チームを9月21日から29日にわたりて派遣いたしました。なお、本事業は日本財団の支援により設置した太鼓ファンドを活用して行いました。

23日の初日の公演は著名なチェロ奏者カザルス氏の故郷であるベンドレル市で行いました。当日、地元のサッカーチームの試合がテレビ放送されるため、市民はほとんどがテレビに釘づけになり、外出をしないと聞いていました。しかし、開演前には会場は満員で立見の観客まで出ていました。なかには、会場に入りきれず、仕方なく会場を去る人もみられました。

25日のメルセー祭の野外特設ステージでは、4000人以上の観客が集まり、太鼓の響きと軽快なリズムに熱狂した観客が口笛を吹き、足を踏鳴らして太鼓の演奏を歓迎してくれました。

また、バルセロナの日本の子供たちに日本太鼓を紹介するため、バルセロナ日本人学校で太鼓を演奏し、演奏後は太鼓教室を開きました。生徒達や学校関係者から大変喜ばれ、生徒達がお礼に合唱を披露してくれました。また、本校ではすでに教育の一環として太鼓を注文しており、今後の太鼓指導に役立てていきたいととても感激していました。

今回の公演では、テレビ1社、新聞2社の取材がありました。

＜派遣メンバー＞

■御陣乗太鼓保存会

代表：池田庄作、境秀男、隅谷三郎、中村孝一、浜高元一、脇本哲也

■ゆふいん源流太鼓

代表：長谷川義、河野勝巳、佐藤貢一、堀江利彰、佐藤美保

■(財)日本太鼓連盟

塩見副会長、浅野理事、秋田事業課長、長谷川係員

＜公演日程＞

- 9月23日(土) カザルスホール公演
- 24日(日) メルカット・ダ・ラス・フロレス
(市営劇場) 公演
- 25日(月) メルセー祭野外特設ステージ公演
- 26日(火) バルセロナ日本人学校公演

スペイン公演を終えて

ゆふいん源流太鼓 佐藤 美保

まだ残暑の感じられる秋空の9月、「御陣乗太鼓保存会」と私たち「ゆふいん源流太鼓」の一行は、バルセロナへ向けて出発しました。

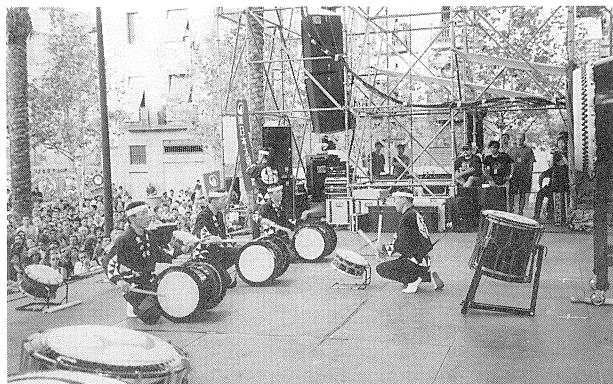
4日間の公演の中で特に印象的だったのは、2日目と3日目でした。

2日目の会場「メルカット・ダ・ラス・フロレス」は、歴史を感じさせる外観とはうって変わって、近代的設備の整った内装で、厳しい傾斜の客席から見下ろされる威圧感に今までにない緊張の中で演奏したのを覚えています。

3日目は、今回の公演の中で一番のメイン「メルセー祭」です。住宅街の中心に作られた特設会場は、身動きできないほどの人ばかりで、観客を巻き込んでのフィナーレは会場が一つになった瞬間でした。

どの公演でも、客席総立ちで惜しみない拍手をもらいました。バルセロナの人々が、どのように日本人を、また、日本の太鼓を見、感じてくれたのかわかりませんが、その拍手が答えだったと思います。

私にとって貴重な海外演奏に参加できて誇りに思うと同時に、伝統太鼓の代表とも言える池田庄作副会長と御陣乗太鼓の方々と共に公演ができ、様々なことを学ぶことができました。このような機会を与えて下さったことをとても感謝しています。この体験を無駄にせず、これからも一層精進していきたいと思います。最後に、お世話になりました財団の皆さん、総領事館をはじめとする関係各位の皆さん、本当にありがとうございました。



(メルセー祭の野外ステージで演奏するゆふいん源流太鼓)

日本太鼓と学校教育—③

太鼓指導者の育成を早急に

蘭導代表 鈴木 孝喜

昭和60年のことである。ある小学校より、手をやいている児童のことで相談があった。話を聞いてみると、この小学校は1200人を超すマンモス校で、色々な部活動があるが、入部するにはそれぞれの適性試験に合格しなければならないとのこと。つまり、手をやっている児童とは、この試験に落ちた10数人の児童たちのことであった。

この児童たちは放課後、他の部活動を横目に見ながら、落書きやガラスを割るなど施設を荒らす問題児とされていた。学校にとってこれは、これまでの指導経験の中では特別のものだった。太鼓指導をはじめると常に落ち着きのない児童もおれば、1分と話を聞けなかったり、学校で手をやいていることを実感した。しかし、児童たちの興味をひくよう模範演奏をやってみせたり、指導時間を拘束したりせず、短い時間から少しづつ練習時間をのばし、一人一人が持っている個性を太鼓に向けさせながら3ヵ月後ようやく学校祭の発表にたどりついた。私は、他のイベントのため、当日の舞台を見ることができなかつたが、翌日学校から連絡があり、何と、あの児童た

ちが一躍大スターになってしまい、大人気とのこと。心のやり場のない児童たちが太鼓を通して自分の存在を伝えていたのだ。

今、あらゆるもの豊富な時代とは反対に、自分を表現できない少年たちが増えているのは事実のようだ。2002年からは義務教育へ和楽器が取り入れられ、太鼓も使われるようになると思うが、全国的に指導者が少ないので現状である。技術も指導力も優れた公認指導員をはやすく育成しなければならないと思っており、また、技術委員会の一委員として大きな役目を感じている。



新たに1級公認指導員誕生

今回、23人目の1級公認指導員に認定された手取亢龍太鼓保存会(石川県)の安江信寿氏から
今後の抱負について寄稿して頂きました。

「日本中に友達をつくる」

1級公認指導員 安江 信寿
(財)日本太鼓連盟より1級公認指導員に合格したとの通知が届く。
喜ぶ間もなく「抱負を書け」とのTEL。一番苦手…。



補助講師として、京都・群馬・大分・静岡・熊本・長野で開催された日本太鼓全国講習会及び支部講習会に参加させていただき、自分自身大変勉強になりました諸先生方との出逢いは印象深いものがありました。

基本講座を受け持たせていただき、生徒たちの真

剣な眼差し、一生懸命な姿に感動を覚え、いかに分かりやすく、楽しい講座にしてゆけるかが当面の課題であります。生徒たちに感動とやる気をあたえ、また、何でも気軽に相談に来てもらえるような、親しみやすい講師になりたいと思っております。そして、講座も信頼して聞いてもらえるよう、まず自分自身が基礎知識をしっかりと身につけ、努力を惜しまずがんばっていこうと考えております。

追伸：日本中に私を迎えてくれる友達がいる。

考えただけで胸がワクワクする。

世界中ならもっと嬉しい

池田庄作副会長、文部大臣から表彰

このたび、文化財保護法50周年記念式典が行われるにあたり、当財団の池田副会長が長年にわたり御陣乗太鼓の伝承・保存のため尽くされた功績に対し、文化財保護功労者として文部大臣から10月30日に表彰されることになりました。この受賞は太鼓界に大きな夢と希望をもたらしたことになります。本当におめでとうございます。

事務局だより

(財)国民音楽振興財団(現:日本音楽財団)の頃より、日本の太鼓の普及・振興のために務めていた当財団職員の石塚博子さんが5月末日をもって退職いたしました。

今回は、石塚さんより想い出を寄稿していただきましたので、ここに紹介いたします。

太鼓の想い出

石塚 博子

ドン!!となる太鼓の響きは心と心、
世界を結ぶ合い言葉。
丸い太鼓で平和な明るい街づくり。
ドドーンと響き心豊かな人間づくり。
ドドーンとみんなで仲良くしましょう。
ドドーンとふるさとを大切にしましょう。
ドドーンとみんなでガンバリましょう。

全日本太鼓連盟設立当時の代表世話人(現在(財)日本太鼓連盟副会長)の小口大八先生が作られた句です。

人が集う所にこの句が目に触れ、耳に触れ、合い言葉のようになっていました。事業の印刷物や、祝電の一一行にも必ず入っていたことをご記憶の方も多いと思います。わかりやすく、暖かみのあるこの句は当時の会員の心をひとつにし、いつかは必ず法人化したいと大きな夢に向かってがんばっていた頃の

とても懐かしい句です。

私は昭和56年1月から5年間、その後、平成3年4月から9年間、ご縁があり事務局として皆様の窓口をさせて頂きました。お電話でも事業でお会いした時も、いつも変わらず温かい言葉をかけてくださいまして、本当にありがとうございました。

在籍14年の間には、嬉嬉交々思い出すことがたくさんありますが、生の太鼓の音に魅せられ、多くの太鼓人のお人柄に感動し、太鼓の虜になり、そして日本太鼓に出会えた幸せに感謝しております。

本当に永い間お世話になりましたありがとうございます。

この紙面をお借りいたしまして、心からお礼を申し上げます。

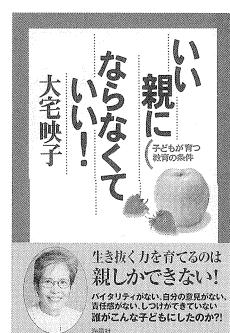
日本太鼓の益々のご発展をお祈りいたします。

第4回日本太鼓神奈川県支部講習会

日 時：2000年12月9日(土)・10日(日)
会 場：神奈川県平塚市民センター
講 座：4級・5級基本講座
大江戸助六太鼓講座
問合せ：(財)日本太鼓連盟神奈川県支部
事務局長 加藤 修
神奈川県横浜市青葉区すみよし台34-34
TEL. 045-962-2808 (FAX兼用)

大宅映子氏著書を出版

当財団の大宅映子理事(評論家)が「いい親にならなくていい!」(海竜社)を出版されましたので、お知らせいたします。
是非、ご一読を!



各地のたより

- 11月3日(祝) 第4回大分県太鼓コンサート・第3回ジュニアコンクール大分県大会
場所：大分県大分市大分文化会館 主催：(財)日本太鼓連盟大分県支部
- 11月5日(日) 2000かながわの太鼓
場所：神奈川県平塚市民センター 主催：(財)日本太鼓連盟神奈川県支部
- 12月17日(日) 2000神宮外苑ロードレース (主催：神宮外苑ロードレース実行委員会)
場所：国立競技場 出演：雨鳴太鼓保存会(山梨)、相州海老名東伯太鼓(神奈川)
- 12月17日(日) 日本太鼓フェスティバル in 野田
場所：千葉県野田市文化会館 主催：下総之国 津久太鼓“響”